

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 和歌山県 】

学校名【 和歌山県立和歌山盲学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	児童：2名（5年1名、6年1名） 引率：2名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (校外学習「アクセスディンギー体験」) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピック教育を実施することにより、オリンピック・パラリンピックムーブメントの普及・推進を図る。 ・生涯にわたってスポーツを継続する資質・能力を育てる。 ・オリンピック種目であるセーリング競技（本校はアクセスディンギー）の魅力に触れる。
5 取組内容	【事前学習】 日時：2021年8月5日（木） 場所：和歌山盲学校 内容： ・夏期休業中の登校日を利用し、オリンピック・パラリンピックに関する調べ学習を行った。 ・児童の ICT 端末で和歌山セーリングセンターの場所や、セーリング・アクセスディンギーについて調べた。 ・事前に和歌山セーリングセンターからいただいた注意事項を伝え、当日安全に活動ができるようにした。 【体験当日】 日時：2021年8月20日（金）→台風の影響で延期 9月17日（金）→感染症の影響で延期 10月15日（金）→実施 場所：和歌山セーリングセンター 内容： ・和歌山セーリングセンターの職員から、安全講習・操作理論について説明を受けた。

- ・施設の湾内でアクセスディンギー体験を実施した。
- ・午前中は児童と指導員（和歌山大学ヨット部員）と一緒にアクセスディンギーに乗り、操縦の仕方等を教わった。慣れてきたら児童と引率教員と一緒に乗った。
- ・午後からは湾外での体験を楽しんだ。

【事後学習】

日時：2021年10月18日（月）

場所：和歌山盲学校

内容：体験の写真を見て、ふり返しを行った。



	
6 主な成果	・オリンピック種目の一つにセーリングという競技があることを知った。 ・普段体験できないスポーツに触れ、貴重な体験をすることができた。 【児童の感想文から抜粋】 ・ヨットの体験をしました。楽しかったです。すごい波だったけれど、またいつかやりたいです。 ・アクセスディンギーは、とても簡単に操縦ができる船のことです。乗ってみると、とても深かったです。操縦が難しかったです。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・初心者・障害者でも安全に操船できるアクセスディンギーを用いて体験を行った。 ・アクセスディンギーは風の方角を肌で感じ操縦するものなので、視覚障害児でもコツをつかむと操縦することができた。 ・参加児童は弱視であり、資料等の文字を拡大する必要がある。予め児童が見やすいフォントの大きさを伝え、資料を作成していただいた。
8主な課題等	・セーリングに限らず、他のオリンピック・パラリンピック種目について学ぶ機会を設け、理解・関心を更に高められるようにしたい。
9来年度以降の実施予定	・他学年・他学部への広報活動を行う。 ・継続して実施（参加）していきたい。